

# 8月

NISSO だより  
日本総合教育専門学校  
No.88 松本ま

## オープンキャンパス 開催中!



学生たちにも協力してもらいながら、オープンキャンパスを行っています★日総の魅力をお伝えしたり、楽しい製作活動をしたり盛りだくさんです！周りに、幼児教育に興味をお持ちの方がいらっしゃったら、是非お誘いくださいね！待ってます♪



## 1年生・2年生

### 初めての基礎実習終了!



1年生は1日、2年生は2日間、付属園での前期・基礎実習が無事に終わりました！初めての実習で楽しみと不安でどきどきの中、汗びっしょりになりながら子どもたちとたくさん関わり、笑顔いっぱい頑張りました！！感染症対策に気を付けながら、園の先生方にご指導いただき、子どもたちと関わる仕事のすばらしさを経験させていただくことができました★今回の学びを忘れずに、1年生は来年、2年生は後期の教育実習に向けて、しっかり準備を進めていってほしいと思います！

## 3年生・4年生

### 教育・保育実習報告会!



幼児教育学科3年生 教育実習Ⅰ、保育実習Ⅰ(施設)  
こども学科3年生 保育実習Ⅰ(保育所)  
幼児教育学科4年生 保育実習Ⅱ(保育所)orⅢ(施設)

3年生と4年生が上記の実習を無事に終え、それぞれの実習先での経験や気づきや学び、印象に残ったエピソード、今後の課題などの報告を行いました！園や施設によって様々な特色や違いがあることを改めて理解したり、同じ夢を持つ他の人の実習中の頑張りを聞きながら、お互いを称え合う姿が見られたりなど、情報を共有することで得られた学びがたくさんあったようです★これらのことを忘れずに、次の実習に活かしてくださいね！

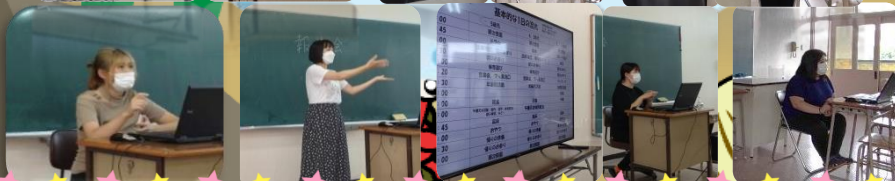


## 教員採用試験

### 頑張りました!



小学校教諭を目指す学生たちが、教員採用試験を受験しました！当日までかなり緊張していたようですが、今までの積み重ねを十分に発揮できたのではないのでしょうか！夢実現に向けての第一歩！これまでの努力が報われることを祈っています!!





7/15(金)

## 学校説明会・声楽発表会！

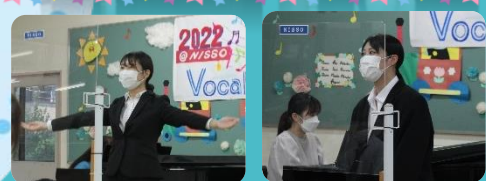
学校説明会と声楽発表会が同日に開催されました。

学校説明会では、ご多用の中たくさんの高校の先生方にご参加いただきました。短い時間ではありましたが、学生たちの声楽発表会も見させていただくなど、本校や学生たちの様子や雰囲気を肌で感じ取っていただけたのではないかと思います。

本当にありがとうございました！！

声楽発表会では、緊張しながらも一生懸命歌いあげる学生たちの姿にとっても感動しました💡 1年生は初めての発表会でしたが、練習の成果を発揮できていたようです♪

子どもたちは歌うことが大好きです！得意、苦手にかかわらず、たくさんの歌を子どもたちと一緒に歌って楽しめることができるような、そんな先生を目指してほしいな…と思います(^^♪



7/24(日)

## 保護者説明会開催！

2年間コロナ禍で行えなかった保護者説明会を開催することができました。

久しぶりに保護者の皆様とお顔を直接合わせながらお話が出来て、職員一同の励みにもなりました！

短い時間の中ではありましたが、多くのご参加ありがとうございました。



### 8月の予定

- 1日(月)1年レポートメ切日
- 2日(火)2年レポートメ切日、オープンキャンパス
- 3日(水)3年レポートメ切日、4日(木)4年レポートメ切日
- 5日(金)夜のオープンキャンパス
- 6(土)~16(火)夏季休業日(学校は開いていません)
- 20(土)科目終了試験、27(土)オープンキャンパス



## 校長室の窓から

世界陸上

文責 高木

日本選手団が4個のメダルを獲得した世界陸上オレゴン大会は去る7月24日、連日熱戦が繰り広げられ終了した。陸上競技界の歴史をたどり私なりに分析すると、長距離競技以外の陸上の記録の変遷の分岐点は半世紀以上前に開催されたメキシコ五輪(1968年開催)であると私は分析している。というよりメキシコ以来、記録的には大きな伸びはない。現に半世紀以上前のメキシコ大会、優勝記録男子100mは9秒台、200mは19秒台、400mは43秒台に突入。走幅跳ではBビーオンが8m90cmを跳んだ。今回の世界陸上優勝記録に並ぶか優っている。

走高跳ではDフォズベリーが初めて背面跳びを披露し2m24cmで金メダルを獲得した大会でもある。メキシコ大会の急速な記録的な伸びは、高地での開催であったことに加え、それまでのアンツーカー(土)トラックからオールウェザー(通称タータン)に変わったことが大きい。人類の限界に一気に近づいた大会といえる。メキシコで伸びきった感があるために記録や技術の世界的な記録の伸びは小さく、現在日本人選手はその差を縮めることが出来ているようにも思える。近年、そのことはテレビの画面から見て取れ今大会の入賞数は9を数える。

日本人選手の活躍は、私が高校1年生で憧れたメキシコ五輪を観た時のように、今の若いアスリートを大いに刺激したに違いない。

日本陸連は先頃2025年に世界陸上の東京大会開催が決定したことを正式に発表した。昨年延期開催した東京五輪はコロナのダメージが少なからずあったと思う。2025年には運営面も含め大いに夢が膨らむ大会となってほしい。世界的な平和を願いつつ。

